

医療法人社団 鶴友会 鶴田病院 回復期リハビリテーション病棟

～ 2021年1月～6月分クリニカルインディケーター・特色のご紹介～



アウトカム実績指数



確かな効果につながるリハビリテーションの提供

下記の指標が示す通り、各項目で回復期リハビリ病棟として一定程度の基準をクリアしております。

- ①重症患者割合 **29.0%** ②重症患者回復割合 **66.0%** ③リハ平均提供単位数 **5.4単位**
④アウトカム実績指数 **42.7**(2021年1月～6月退院患者)

実績指数とは、FIM 得点の改善度を患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。

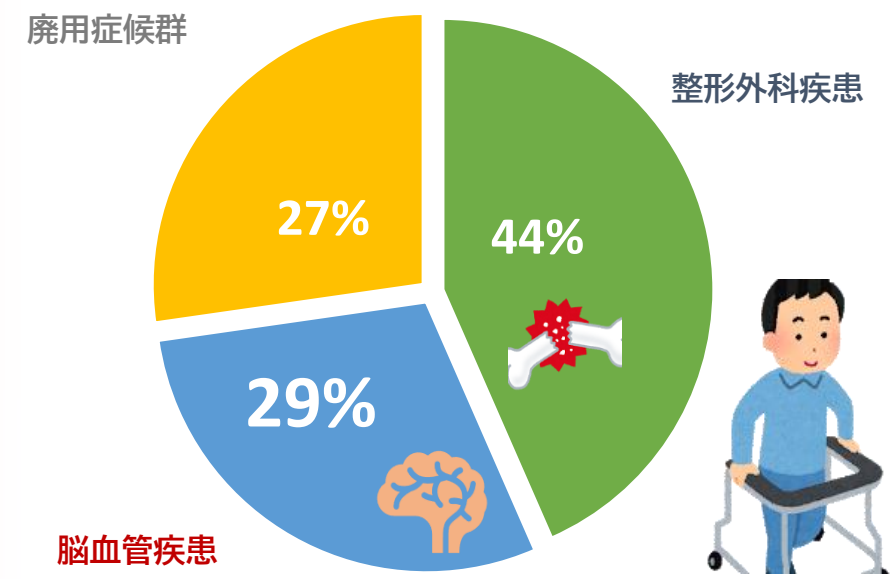
(退棟時のFIM 運動項目の得点 - 入棟時のFIM 運動項目の得点)

(各患者の入棟から退棟までの日数 ÷ 患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数)

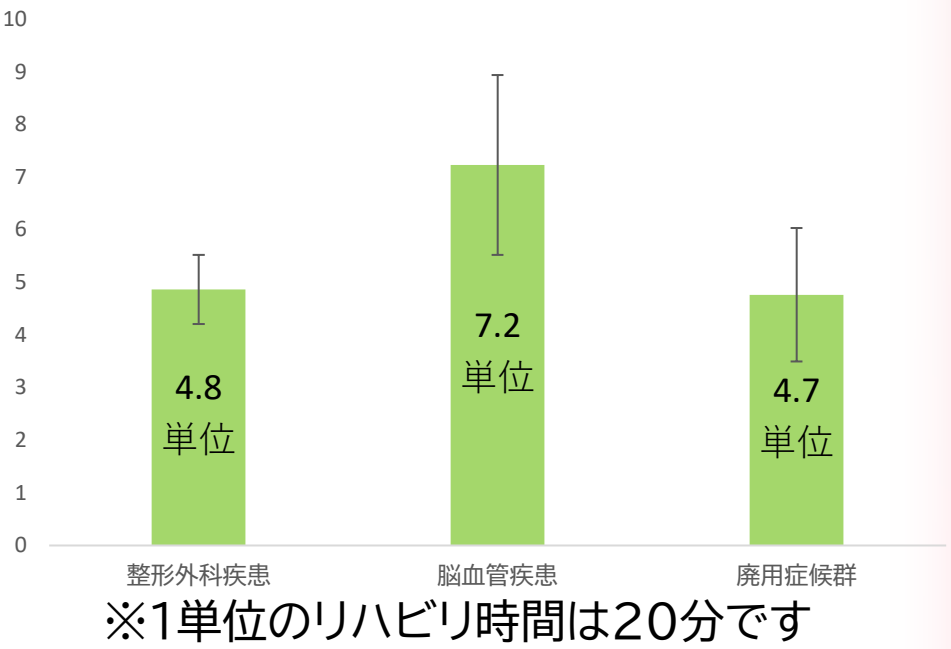
厚労省の示す基準では、実績指数が「27 以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションが提供できているとされます。

疾患別リハビリテーションアウトカム

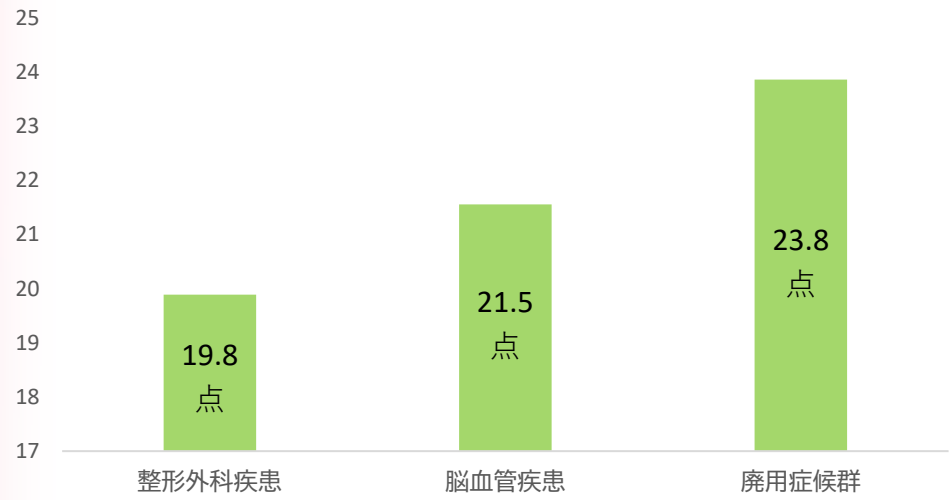
疾患別割合



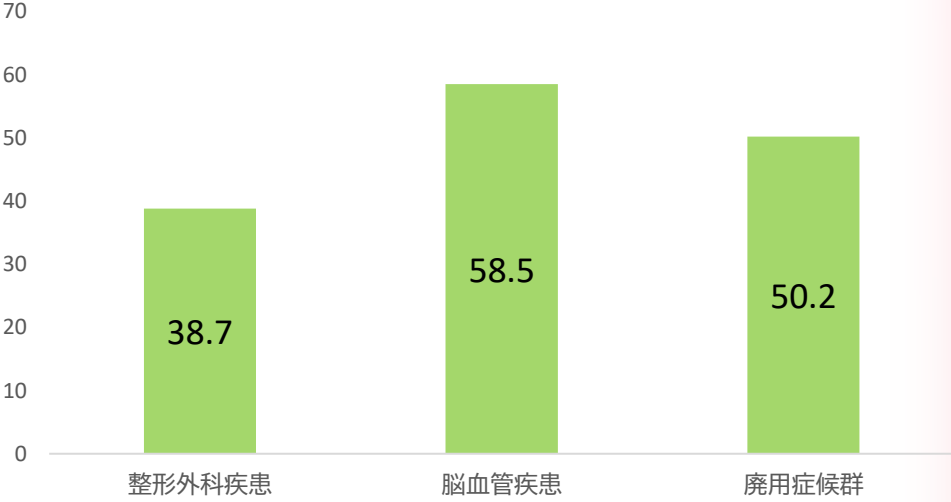
平均提供単位数



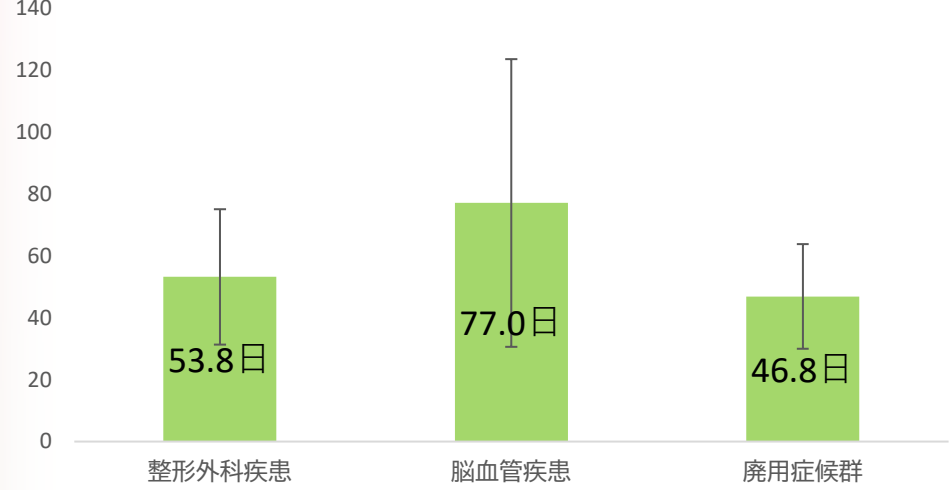
FIM運動項目利得



疾患別アウトカム実績指数



平均入院期間



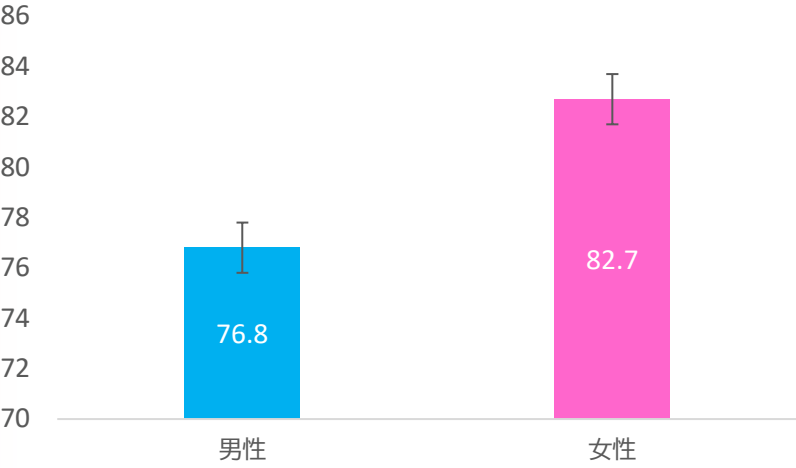
幅広い疾患に対応するリハビリテーションの提供

脳梗塞を始めとする脳血管疾患や大腿骨や脊椎の骨折による整形外科疾患、肺炎後・がん疾患の術後廃用症候群など幅広い疾患に対応しています。特に「がんリハビリテーション」の施設基準を取得、がんリハ研修修了者も多く在籍しています。一般病棟と入棟調整を行う事で手術侵襲を受けられた患者様も安心して回復期リハビリテーションを受けることができます。

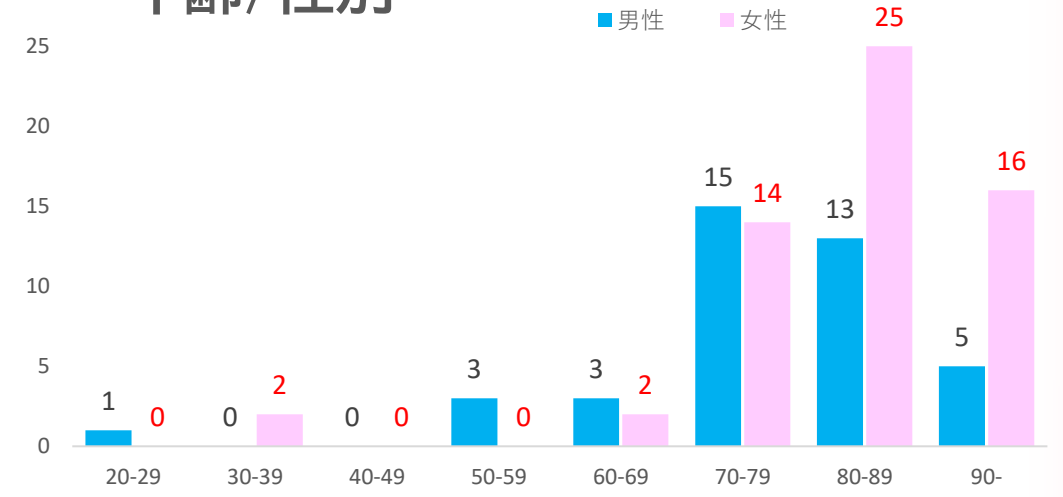
⇒在職者のがんリハ研修修了者26名(内医師4名 リハ17名 看護師他5名) 2021年7月1日現在

Othersdata

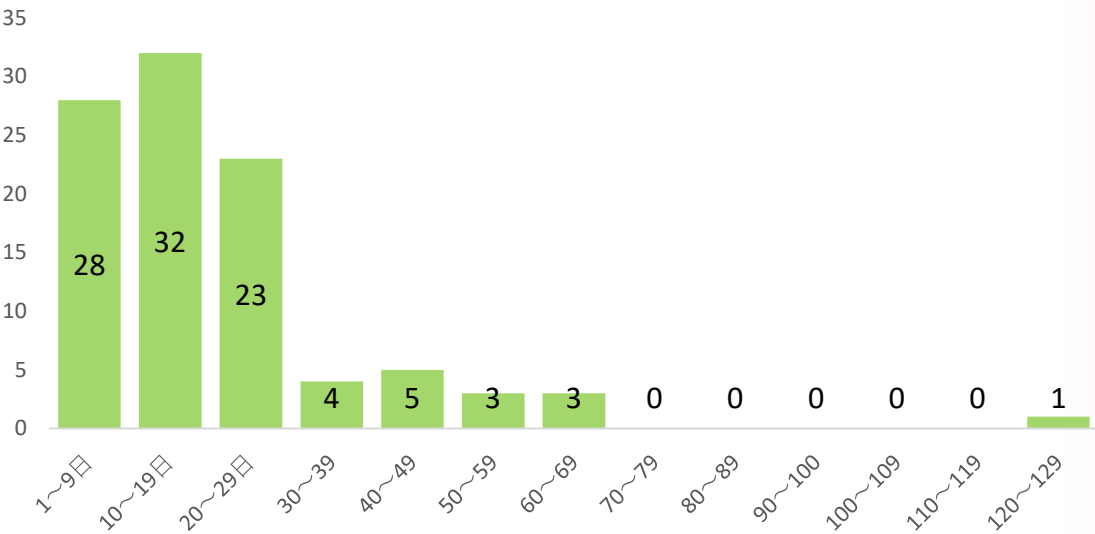
平均年齢



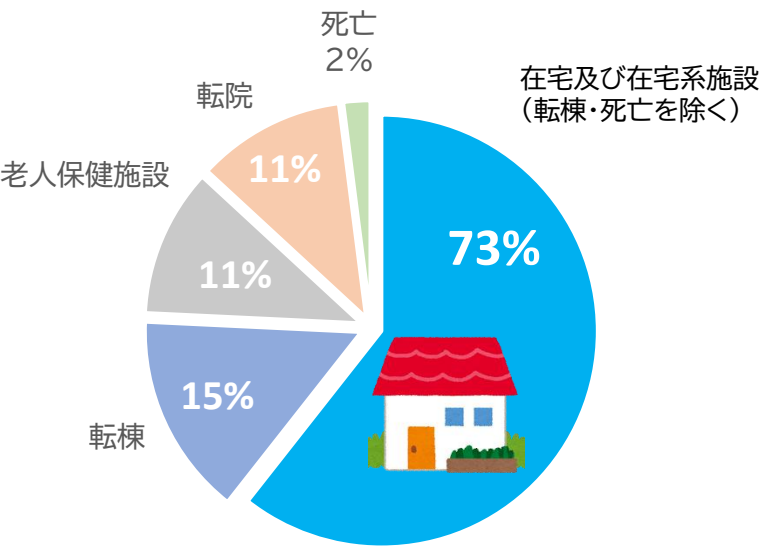
年齢/性別



発症から入棟までの期間



転帰先



人工透析患者に対するリハビリテーションの提供

当院は人工透析センターがあり、リスク管理をしながら回復期対象疾患の透析患者様へのリハビリテーションを実施可能です。人工透析患者は全身管理が難しい上に、時間的な制約が大きいながらも、平均**4.4単位**のリハビリを提供し、平均入院期間**67.3日**、退院患者99名(男性40名、女性59名)のうち透析患者が12名で、その内9名が在宅復帰されています。在宅復帰率:**75.0%**、FIM運動項目利得**23.3点**、アウトカム実績指数**43.1**と患者様含め目標設定を行い、多職種によるチームアプローチで在宅復帰を目指していきます。

摂食嚥下リハビリテーションの取り組み

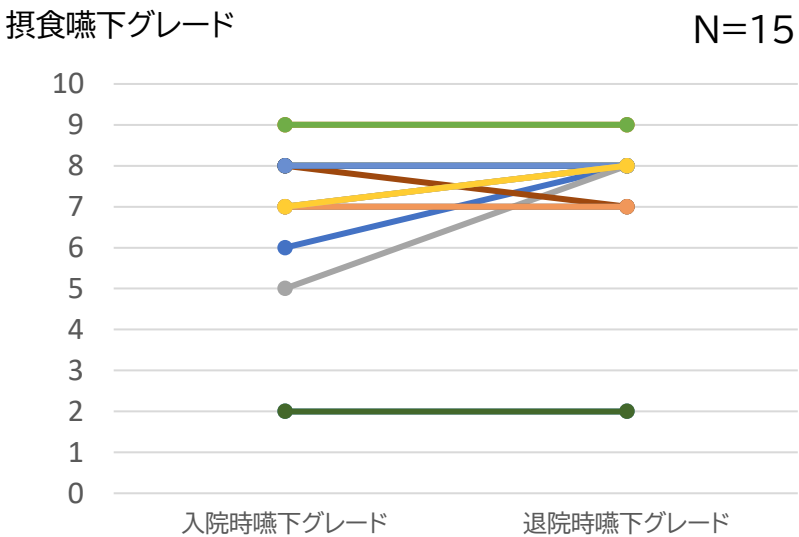


摂食嚥下リハの特徴

近年、回復期リハビリテーション病棟での摂食嚥下リハ取り組みに関して、口腔内衛生と口腔機能の重要性や栄養状態の改善、姿勢や体力、高次脳機能障害、認知症などが学会等で多く取り上げられています。食べることは飲み込みだけではなく、口腔機能や栄養面、身体機能、高次脳機能、認知機能など多くの機能と能力によって支えられています。

当院の回復期リハビリテーション病棟は小規模ながらも、医師、看護師、介護福祉士に加え、歯科医師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、NST専門療法士の認定を持つ言語聴覚士が在籍しており、多職種で患者様一人一人に合わせたオーダーメイドの摂食嚥下リハビリテーションサービスを提供しています。

【回復期リハ病棟の摂食嚥下リハ実績】
DETA:2021/1～2021/6



※上記期間に入退棟し摂食嚥下リハを実施した患者。
急性増悪を除く。

～当院のやわらか食(軟菜食の例)～



当院は患者様の状態に合わせた食形態でお食事を提供しています。